

令和6年度 指定管理者モニタリング票

所管課名 産業振興部農林水産振興課
 電話番号 0835 (25) 2134

1 施設の概要

施設名称	防府市水産総合交流施設
設置目的	水産業の振興及び都市と漁村との交流の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、水産総合交流施設を設置する。

2 指定管理者の概要

指定管理者	名称	山口県漁業協同組合
	代表者	代表理事組合長 森友 信
	所在地	山口県下関市大和町一丁目16番1号
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
選定方法	非公募	
(非公募の理由)	水産総合交流施設の設置目的に沿った運営体制とするため	
利用料金制の有無	有	

3 指定管理業務の運営状況

業務内容 (具体的に)	(1)魚食及び水産物の普及及び情報の提供に関すること。 (2)水産物等の展示販売に関すること。 (3)地域の食材を活用した飲食物の提供に関すること。 (4)地域情報及び観光情報の提供に関すること (5)道路利用者の利便性の向上に関すること (6)防府市水産総合交流施設（以下「交流施設」という。）の使用の許可に関する業務 (7)交流施設の使用に係る料金に関する業務 (8)交流施設の維持管理に関する業務 (9)その他指定管理者が交流施設の管理上必要と認める業務					
組織体制	駅長 1人 指定管理部門 職員 5人 自主事業部門 職員 2人、パート6人（内直営店あまい魚屋勤務は1人、 残りは加工事業兼務） 合計 14人（令和7年3月現在）					
労務環境	労働関係法令を遵守している。					
利用状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	目標値	700,000	700,000	750,000	750,000	800,000
	実績値	574,907	619,848	658,769	643,001	
	分析	物価高の影響が大きかったものの、直営店舗1店舗開業やテナント店舗の経営努力により、テナント来場者数は多少の減少にとどめることができた。				
②	目標値					
	実績値					
	分析					

4 指定管理者の業務に係る収支状況

①指定管理業務に係る収支					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指定管理料	20,248,762	20,263,000	20,263,000	20,263,000	
利用料金	26,743,521	29,551,094	31,581,316	31,518,502	
その他	7,935,290	9,849,557	11,310,999	11,356,636	
収入計(a)	54,927,573	59,663,651	63,155,315	63,138,138	
人件費	27,124,193	23,989,622	27,177,618	25,540,820	
光熱水費	12,940,026	19,384,938	18,295,073	19,441,130	
修繕費	3,985,762	4,065,586	4,075,575	4,053,995	
その他	8,910,022	8,659,997	9,333,409	11,899,123	
支出計(b)	52,960,003	56,100,143	58,881,675	60,935,068	
収支(a-b)	1,967,570	3,563,508	4,273,640	2,203,070	
分析	直営店舗1店舗開業やテナント店舗の経営努力による利用料等収入の増加により、来場者数の多少の減少にも関わらず、賦課金収入の増加させることができ、収益を確保できた。				
②自主事業に係る収支					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計(c)	77,207,223	94,733,983	103,940,470	113,131,661	
支出計(d)	69,503,890	88,289,331	96,489,516	104,911,452	
収支(c-d)	7,703,333	6,444,652	7,450,954	8,220,209	
主な内容	直営店（野菜・土産物等の販売、メバル焼きの販売）、水産加工事業（ハモの加工・販売）、新築地緑地管理委託事業収入、自販機販売手数料、氷販売収入				

5 利用者満足度

調査概要	実施方法	アンケート用紙・回収箱設置のアンケート実施
	時期	通年
	回収率	0.005%（回答数31件／入場者数643,001）
	満足度の割合	77%
対応状況	<p>『魚の市場にしては魚屋が少ない』、『集客力のあるイベントを』などの意見については該当店舗のみならず、他の店舗や事務局にも情報を共有し、サービスの向上の指針とした。</p> <p>その他、『野島定期便の出港・着岸用の港の整備』『子供用のトイレが欲しい』などが要望として散見されるが、国、県、市とともに調査・研究しなければならない今後の課題である。</p> <p>商品に対する満足度は全体的に高く、今後もこの品質を維持していけるよう運営に取り組んでいきたい。</p>	

6 評価

指定管理者による自己評価	<p>昨年度に引き続き、積極的に販促イベント等を実施したことで、魚食及び水産物の普及を進めることができた。それにより、施設全体として来場者数は減少したものの売上額ともに大幅に増加し、2年連続、過去最高水準となり、水産総合交流施設の賑わいの創出へとつながった。</p> <p>しかし、集客・売上を伸ばしているテナントもあれば、経営状況が思わしくなく、年度末までに撤退したテナントもあるため、各テナント店舗への経営指導・助言、思い切ったテナント誘致などの対策も講じて、更なる賑わい創出を図っていきたい。</p>
市の評価	<p>物価高の中、積極的な販促イベント等により、魚食及び水産物の普及を進め、売上額を増加させ、2年連続過去最高水準としたことは評価したい。</p>